

— 地域の皆様へのお願い —

“—市民の、一本のひまわりで、一つのこころの輪を、結び合おう”

《つくしファームひまわり畑の由来》

私どもが、毎年ひまわりを植えている『つくしファームひまわり畑』の一角は、昭和40年代から50年代にかけて、精神科リハビリテーションとして川室記念病院が農耕・園芸療法を行ってきた場所です。

当時、現在のように精神障がい者を地域で受け入れる環境は整備されておらず、また多種類の抗精神病薬も開発されていなかったので、地域にその方々を社会復帰させていくことは大変なことでした。その中で、土に触れる農耕・園芸作業は、当時のリハビリテーション技法として、非常に有効なものでした。

その後、院内でのリハビリテーションの充実や早期退院が可能になったことなどから、病院から少し離れたこの場所を利用することは少なくなり、近年は全く利用することがなくなってしまいました。

しかし、平成22年にこの土地を利用して、地域を活性化することが出来るのではないかと考え、この地にひまわりを植え『つくしファームひまわり畑』が出来上がりました。

《今後のつくしファームひまわり畑の充実》

長らく畑として利用していなかった土地でしたが、医療法人常心会川室記念病院 川室優 理事長が所有する土地にひまわりを植え、それ以降、地域の方々にもご理解とご協力を賜り、毎年少しずつ面積を増やし、平成25年には18万本のひまわりを咲かせることが出来ました。

現在、私どもは、障がい者の働く場、高齢者の生きがいづくりの場としてこの「ひまわり畑」を利用することを計画しています。平成26年は、約10,000㎡(1ha)の畑に植栽します。初秋には、たくさんのひまわりの種を収穫することが出来、それを搾油し、『ひまわり油』を生産したり、つくし工房で種を利用したお菓子を作ったりすることで、障がい者の就労の場となるように計画をしています。

そのためには、より一層、地域や市民の皆様へ、広く関心を持って頂けるような、『つくしファームひまわり畑』の実現を願っております。どうぞよろしくご支援・ご協力をお願いいたします。



つくしファームひまわり畑

越後ひまわり祭 in2014 の ご案内



ひまわり祭実行委員会

連絡先

(福) 上越老人福祉協会(事務局)

TEL025-520-2121/E-mail info@inahoen.jp

(福) 上越つくしの里医療福祉協会

TEL025-520-3294/E-mail tsukushifarm@tsukushinosato.com

(医) 常心会川室記念病院

TEL025-520-2021/E-mail info@kawamuro.net

《ご挨拶》

皆様、「越後ひまわり祭」に関心をお持ち下さり、ありがとうございます。今年も『つくしファームひまわり畑』と名付けた地に、元気の源である大輪のひまわりが咲き誇る予定です。

この地、『越後新保』には、障がい者・高齢者の医療福祉施設があり、子どもは永きにわたって社会復帰・社会参加を目指す方々、人生の終の棲家を求めたお年寄りの方々を治療・支援してまいり、現在に至っております。

子どもは、毎年、この地に咲く「ひまわり」に“5つの願い”を託し、ひまわりを楽しんでいます。

1. 障がい者理解を深め、偏見と差別をなくそう
2. 美しい、豊かな田園の自然環境を守ろう
3. ふるさとを思い、語り合い、支えあおう
4. 人が集い、生かされ、地域を築いていこう
5. いのちとところを大切に、平和を祈ろう

越後ひまわり祭実行委員会 委員長 川室優



ひまわり畑（上越市大字南新保字西野）

《ひまわりの開花まで（平成26年度予定）》

ひまわりは植栽から60日ほどで開花します。この植栽は8月のひまわり祭に合わせて6月初旬に種まきを行っています。

種まき

6月6日（金）・7日（土）・8日（日）

※ 地域の皆様や学校、施設利用者だけでなく、一般市民の皆様にも植栽にご参加いただけます。詳しくは、つくし工房（025-520-3294）までご連絡ください。

越後ひまわり祭

平成26年 8月 8日（金）前夜祭

8月 9日（土）イベント（コンサート等）

8月10日（日）散策

※ 8/8、9は夜間ライトアップの予定です。

※ 今年は、子供たちのために、ひまわりの迷路も計画しています。お子様連れで是非お越しください。



H25.8.9 ひまわり祭（新井吹奏楽団アンサンブル）



H25.8.9 東京大学米川教授による講演



平成25年8月10日 上越タイムス